取扱説明書

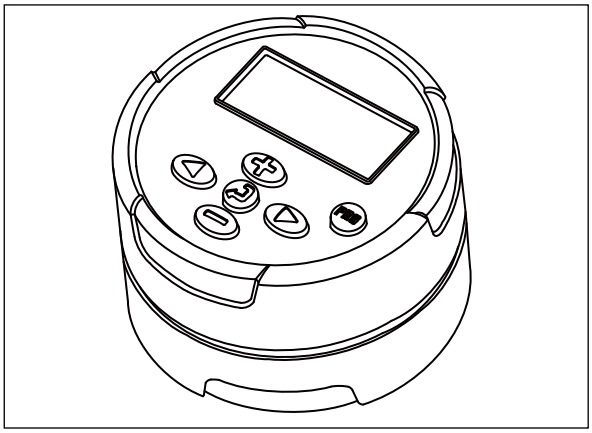
No.C10-03-04

グローベン株式会社

C10SR100 / C10SR100S
C10SR150/C10SR200/C10SR250

プロSコントローラーシリーズ

この度はプロSコントローラーをご購入頂き、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよく読み、注意事項を守りご使用下さい。
また、本書は大切に保管しておいて下さい。
万一不具合、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。



目次

1:ご使用の前に
2:各部の名称
3:取り付け
4:操作方法
5:よくあるQ&A

日常ご使用して頂くお客様へ

・コントローラーの乾電池【9Vアルカリ電池】は1年に1度は必ず交換して下さい。
動作不良の原因になります。
・機械設備の為、正しい使用方法及び状態でも故障する可能性があります。
万一故障した場合、使用製品以外の損害が発生する事もありますので、
設定通りに作動しているか、水の出具合に漏水等の異常は無いか、
散水箇所の植栽等に大きな変化は無いか必ず日常点検を実施して下さい。

取付工事担当者様へ

●本製品の設置の際には「9Vアルカリ電池」を別途ご用意下さい。
●この説明書と製品保証書は、工事完了後に必ず管理者様、施主様
（日常操作可能な方）へお渡し下さい。
お手数をお掛けして申し訳ございませんが、よろしくお願い致します。

各機種の違いは【電磁弁の有無】と【電磁弁のサイズ】です。
コントローラー本体は全機種同じものとなります。
各電磁弁については別紙の電磁弁の取扱説明書をご参照下さい。

グローベン株式会社
URL http://www.globen.co.jp
Email info@globen.co.jp

本社(営)	〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31 TEL 052-829-0800 FAX 052-829-0801	関西(営)	〒666-0016 兵庫県川西市中央町18-26 TEL 072-755-8075 FAX 072-755-8077
関東(営)	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-6-13 KHビル1階 TEL 03-5829-9511 FAX 03-5829-9523	商品センター	〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31 TEL 052-619-6788 FAX 052-619-6786

コントローラー設置日: 年 月 日

1. ご使用の前に

取扱説明書に記載する表示について

本書には安全に関する重大な内容を表記してあります。
表示と意味は以下のようになっております。

警告

警告事項を守らない場合には死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

・本製品は自動散水制御専用の機器です。違う目的に使用したり、改造しないで下さい。他社製品と組み合わせての使用はしないで下さい。
・電池切れによる停止や誤作動などの原因で、使用製品以外に深刻な損害の出る事があります。 必ず日常点検を行い、電池切れや誤作動がないか確認して下さい。

注意

注意事項を守らない場合には、怪我をしたり、製品が損傷する場合があります。

・散水機器の使用は上水道もしくは、必ず清水を使用して下さい、井戸水、雨水などの場合には十分にろ過を行ってからご使用下さい、ろ過が不十分の場合、機器の動作不良の原因となります。
・凍結時、または凍結が予想される場合には使用を直ちに中止して、電磁弁内部の水抜きをして下さい。電磁弁が破損する恐れがあります。
・散水機器を使用しての薬品散布は行わないで下さい。
・散水機器のフィルター、本体の汚れは必要に応じ、水で洗浄して下さい、溶剤、薬品などは使用しないで下さい。
・電磁弁、センサーは当社指定のものをご使用下さい。
・グローベン自動散水システムはスプリンクラー、ドリップチューブなどの散水機器に見合った範囲の水圧でご使用下さい。水圧が基準範囲外の場合、散水が機能しなかったり、機器が破損する場合があります。（下記参照）

使用水圧	ドリップチューブ、簡易ポイントタイプ：150～300Kpa 小・中規模スプリンクラー：200～350Kpa、大規模スプリンクラー：300～600Kpa

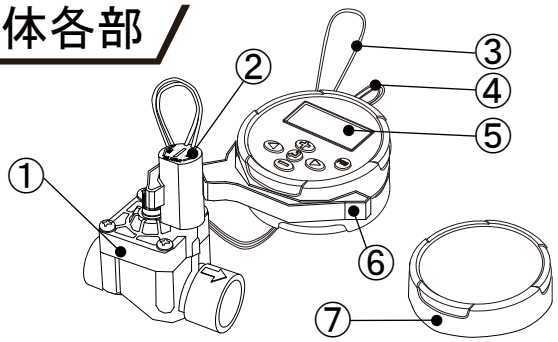
・設置の際には室外機やボイラー等、強い電磁波の発生する機器から5m程度離してご使用下さい。散水が正常にされない場合があります。
・9Vアルカリ電池以外は使用しないで下さい。故障の原因となります。マンガン電池は使用しないで下さい。
・グローベン自動散水システムは散水を補助するものです、使用中に植物等に被害が生じても当社は責任を負いかねますので予めご了承願います。

製品保証について

●本製品の製品保証については、製品出荷時に添付してある保証書をご参照下さい。

2. 各部の名称

本体各部



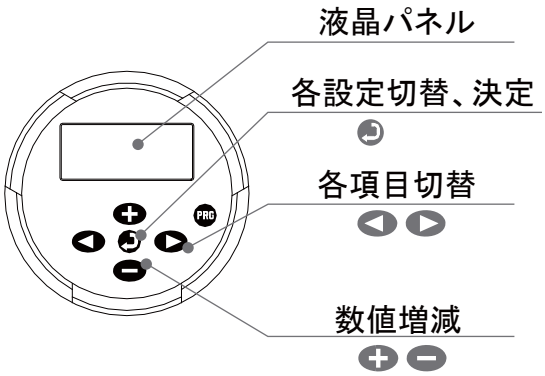
①:電磁弁【イラストはC10SR101】
（下記の梱包内容をご参照下さい。）
②:ソレノイド
③:センサー接続線（黄色）
④:電磁弁接続線（赤・黒色）
⑤:コントローラー本体
⑥:マウントクリップ
⑦:ゴムキャップ

※イラストは【C10SR100】です。機種によって電磁弁の形状、口径が異なります。

本体操作部

操作ボタン

操作方法は7ページ以降をご覧下さい。



PRGについて

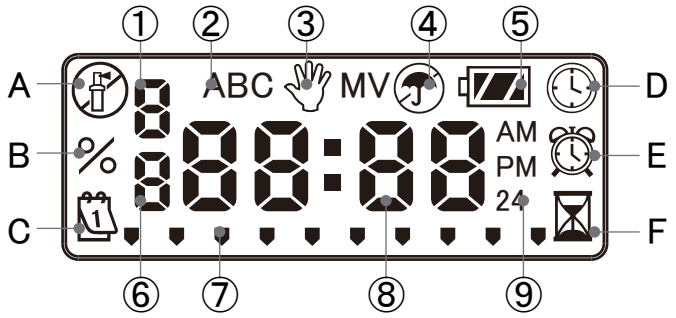
・通常は使用しませんので、押さないで下さい。

・通常はプログラムAのみで使用して下さい。
詳細は7ページ、18ページをご覧下さい。

液晶パネル

液晶表示と本体の状態については6ページをご覧下さい。

A:散水（作動中/停止）
B:季節散水調整
C:散水日設定
D:現在時刻設定（掛時計）
E:散水開始時刻（置時計）
F:散水時間（砂時計）



①:散水開始番号
②:プログラム表示
③:手動散水
④:センサー
⑤:電池残量【5ページ参照】
⑥:電磁弁番号
⑦:曜日表示
⑧:時計表示（時刻、開始時刻、散水時間）
⑨:AM/PM/24HR

梱包内容

◆コントローラー部分は共通で、【電磁弁の有無】と【電磁弁サイズ】が異なります。
◆本体と電磁弁が各1台付属【C10SR100S以外】です。
◆電磁弁に付属しているソレノイドは使用しません。

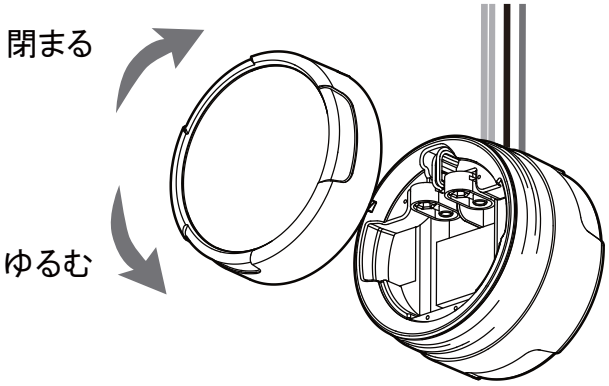
品番	C10SR100S	C10SR100	C10SR150	C10SR200	C10SR250
電磁弁口径【付属電磁弁】	無し	25Aメネジ【C10SR101】	40Aメネジ【C10SR151】	50Aメネジ【C10SR201】	75Aメネジ【C10SR251】

商品仕様

下記はC10SR100【電磁弁:C10SR101】の場合です。

サイズ H×W×D (単位:mm)	コントローラー本体	H65×φ94
	電磁弁【C10SR101】	H130×W113×D70
	一式(参考寸法)	H160×W160×D120 (取付方法により変わります。)
重量	コントローラー本体	565g (9V電池×2個、フタ、ソレノイドを含む) 475g:電池の無い場合 (フタ、ソレノイドを含む)
	電磁弁【C10SR101】	405g (ソレノイドを外した場合は265g)
電源		9V形アルカリ電池 1本(もしくは2本)使用【別売】 電池寿命 約1年(電池1個に付き)
設定時間		1分～360分(240分以降は10分単位)
設定回数		1回～4回(1プログラムあたり:3プログラム使用時12回まで)
設定曜日		曜日指定可能
給水接続口径 (電磁弁により異なる。)		25Aメスネジ【C10SR100】 40Aメスネジ【C10SR150】 50Aメスネジ【C10SR200】 75Aメスネジ【C10SR250】
作動水圧		140～1050Kpa

電池の入れ方



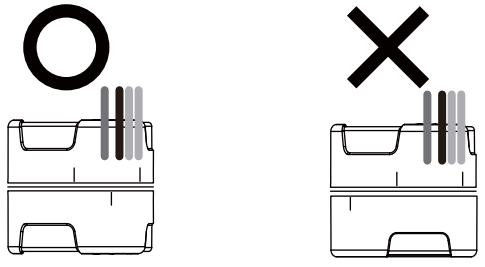
◆コントローラー本体を裏返し、
底面のキャップを回してゆるめて、
取り外します。
◆電池寿命は電池1個で約1年です。
2個で2年が目安です。
(定期的に作動を確認して下さい。)
◆9Vアルカリ電池を別途ご用意下さい。
◆電池は1個だけでも正常に稼働します。
◆電池を2個入れる場合はコネクターのケーブル部を内側にして下さい。

⚠ 電池残量について

液晶画面に電池残量が表示されます。
4段階で表示されますので、下記を
参考に電池交換をして下さい。

100%-60%
25%-0%
60%-25%
すぐに電池交換をして下さい。

⚠ 底面キャップについて



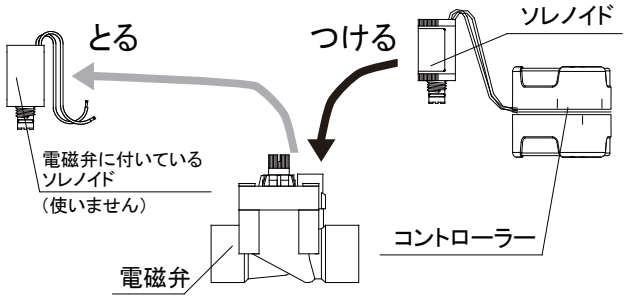
底面キャップの印が、上面の印の間に
来るまでしっかり閉めて下さい。

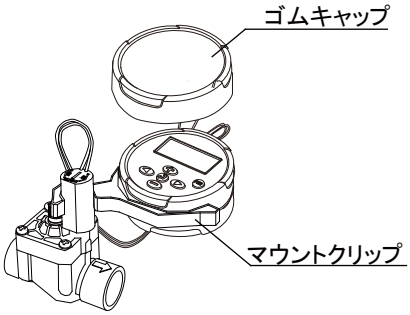
3. 取り付け

本体

下のイラストはC10SR100【電磁弁：C10SR101】の場合です。

1：散水用の埋設配管に電磁弁を取り付けます。口径が異なる場合は適宜変換して下さい。
（別売品で13A、20A用の変換アダプターもございます。）
2：電磁弁に付いているソレノイドをはずします。（このソレノイドは不要です。）
3：コントローラーに付いているソレノイドを電磁弁に取付ます。
4：コントローラーにゴムキャップを被せて下さい。



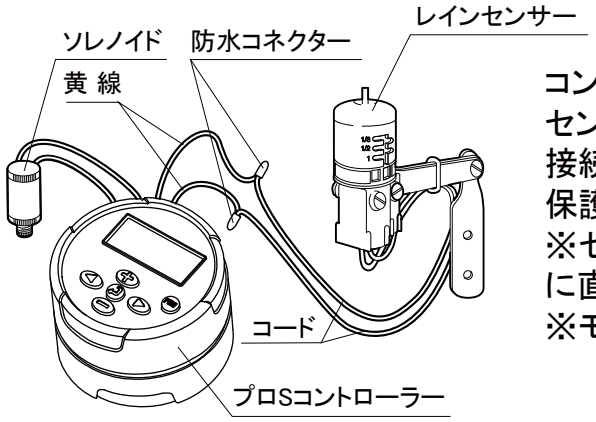


⚠ ソレノイドについての注意点

ソレノイドは必ず最後まできつく閉めて下さい。緩んでいる場合には水が流れてしまい、設定通りに水が出ない原因となります。

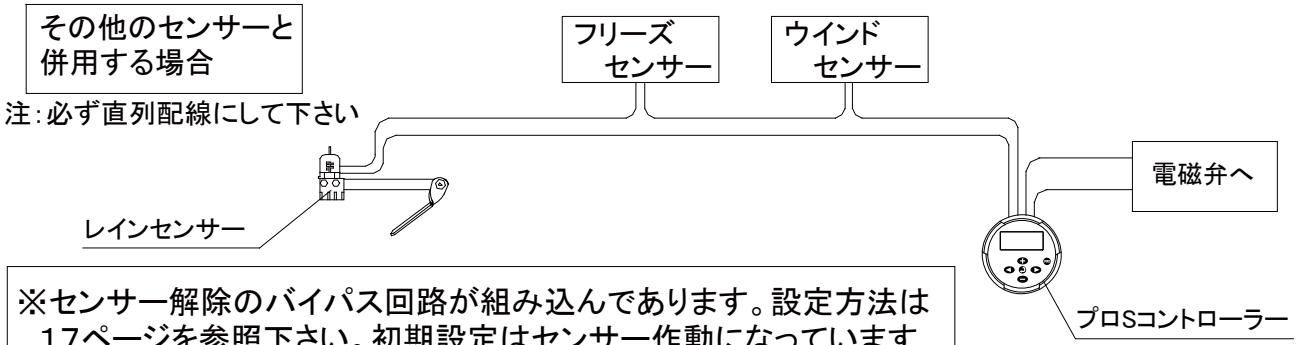
センサー

⚠ 電池を抜いてから、接続して下さい。
各センサーは別売りの追加オプションです。



コントローラーから出ている黄色線を切断し、センサーのコードと接続して下さい。
接続部分には防水コネクター（別売品）を使い、保護して下さい。
※センサーを複数併用する場合は、下図を参考に直列配線でつないで下さい。
※モイスチャーセンサーは取り付け出来ません。

その他のセンサーと併用する場合
注：必ず直列配線にして下さい



※センサー解除のバイパス回路が組み込んであります。設定方法は17ページを参照下さい。初期設定はセンサー作動になっていますので、解除が必要な場合以外は操作する必要はありません。

4. 操作方法

このコントローラーはバッテリーセーブのため、操作時のみ液晶が表示される仕様になっています。
いずれかのボタンを一回押せば液晶が表示されます。(30秒間ボタン入力が無いと自動で消えます。)

液晶表示とコントローラーの状態 (3ページも合わせてご覧下さい。)

◆コントローラーの状態に応じて、液晶表示が異なります。

待機状態(現在時刻)

現在時刻が表示

【:】(コロン)が点滅。設定された時刻に散水が始まります。
下の矢印は曜日を表します。
電池残量の表示については、4ページをご覧下さい。

自動散水中

アイコンと残時間が表示

【スプリンクラー】アイコンが点滅。散水残り時間が表示されます。

手動散水中

「手のひら」が表示

【スプリンクラー】のアイコンが点滅し、【手のひら】が点灯している状態。
散水残り時間が表示されています。手動散水操作は16ページをご覧下さい。

システム休止

OFF点灯

【OFF】と【スプリンクラー禁止】のアイコンが表示している状態。
設定された時刻になっても、散水されません。設定、解除の方法については、15ページをご覧下さい。

散水休止中(降雨など)

「傘」アイコンとOFF表示

【OFF】と【傘】と【スプリンクラー禁止】のアイコンが表示している状態。センサー作動中で散水されません。手動散水は可能です。下記の注意事項もご参照下さい。

センサー解除中

「傘」禁止が表示

現在時刻に加え、【傘禁止】のアイコンが表示している状態。
センサー解除中で、天候に関係無く自動散水されます。
設定、解除の方法については17ページをご覧下さい。

各設定中

設定アイコンが表示

各設定のアイコンが1つ点灯しています。6つ同時には点灯しません。

センサーをご使用のお客様へ 覚えておいて頂きたい事

レインセンサーは構造上、降雨時でも自動散水を休止しない場合や、晴天時でも自動散水が実行されない場合があります。
以下のような時は、故障ではありませんのご注意下さい。

①散水開始時刻の直前や散水中に雨が降り出した時に水が出ている場合

②散水開始時刻の数時間前にまとまった降雨があり、散水時間になっても水が出ない場合

コントローラーの特長

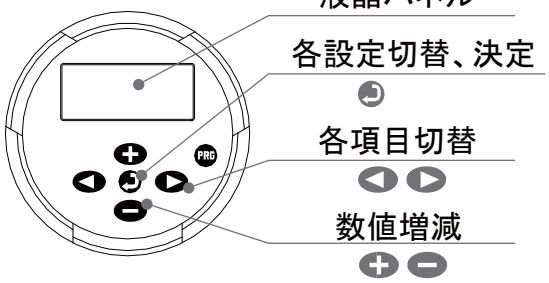
このコントローラーはバッテリーセーブのため、操作時のみ液晶が表示される仕様になっています。
いずれかのボタンを一回押せば液晶が表示されます。(30秒間ボタン入力が無いと自動で消えます。)

◆プロSコントローラーは、1日の散水開始時刻を4回(PRG使用時は12回)まで、
散水時間を最大3時間まで設定する事が出来ます。
カレンダーを内蔵しており、曜日毎の設定も可能です。

内容	該当ページ
i.「現在時刻」の設定	8ページ
ii.「散水開始時刻」の設定	10 ページ
iii.「散水時間」の設定	12 ページ
iv.「散水日」の設定	13 ページ
v. 季節時間調整の設定	15 ページ
vi. システムOFFの設定	15 ページ
vii. 手動散水の手順	16 ページ
viii. センサー解除の設定	17 ページ
ix. 本体プログラムリセットの手順	17 ページ
x. 追加プログラムの設定	18 ページ

操作ボタン

ボタンの切り替えサイクル一覧は20ページをご覧下さい。



各種設定の切り替えが出来る画面に切り替わります。

設定中の点滅箇所が切り替えられます。

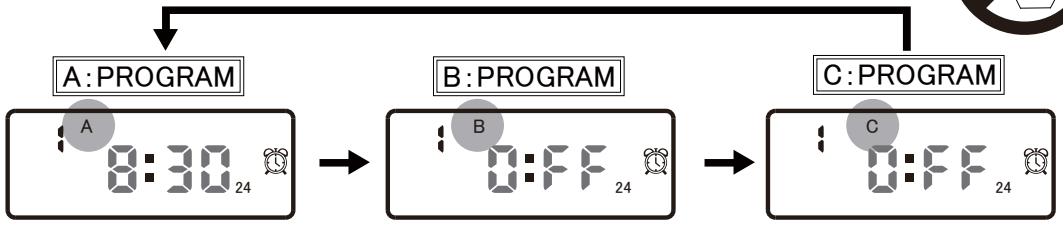
点滅箇所の数字の増減などが出来ます。

⚠注意事項

PRG ボタンについて

PRG ボタンは設定が複雑になるので、使用をお勧めしておりません。

設定入力中に誤って、押してしまった時は、再度ボタンを押して"A"に戻して下さい。
設定中はプログラム【A】が表示されているのをご確認下さい。
※【PRG】のB・Cは初期設定がOFFになっています。
※【PRG】設定の詳細は18ページをご覧下さい。



4. 操作方法

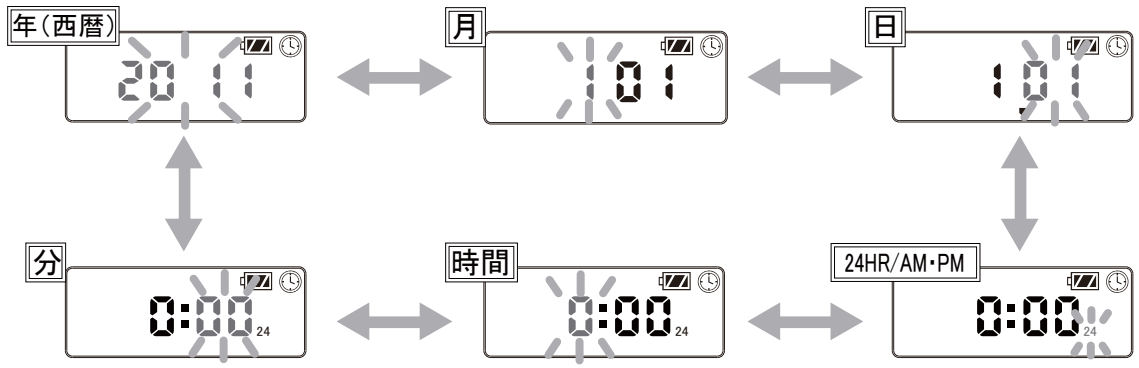
ⅰ.「現在時刻」の設定

例：現時刻が2012年3月10日13時47分の場合

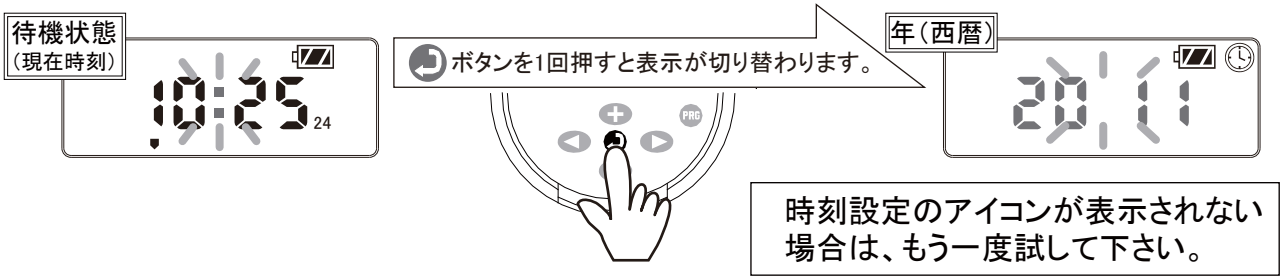
ポイント

・⊕⊖ボタンで数字の変更、◀▶ボタンで設定項目切替になります。
・曜日は自動で切り替わります。（閏年対応）

◀▶ ボタンで切り替わる順番（サイクル）



・待機状態から ↵ ボタンを押します。



時刻設定のアイコンが表示されない場合は、もう一度試して下さい。

・⊕⊖ ボタンを押して、『年』を合わせたら、▶ ボタンを1回押して下さい。

・⊕⊖ ボタンを押して、『月』を合わせたら、▶ ボタンを1回押して下さい。

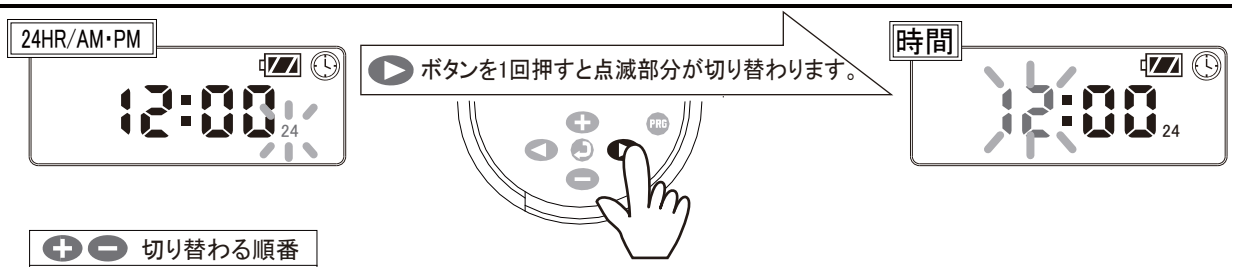
次ページに続く

前ページからの続き

・＋－ ボタンを押して、『日』を合わせたら、▶ ボタンを1回押して下さい。

曜日は日にちと連動して変わります。

・＋－ ボタンで『24時間表示』か『AM・PM表示』を選択し、▶ ボタンを1回押して下さい。



＋－ 切り替わる順番

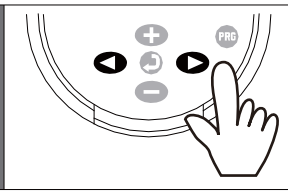
AM⇔PM⇔24HR

※特に支障が無い場合は、誤認防止の為「24HR」表示にすることをお勧めします。

・＋－ ボタンで『時間』を合わせて、▶ ボタンを1回押して下さい。

・＋－ ボタンを押して、『分』を合わせます。入力操作は以上です。

確認手順



◀▶ボタンを押すと、
確認、修正が出来ます。
切り替えサイクルは
8ページ参照。

・↩ ボタンを数回押して、待機状態（現在時刻）にします。

引き続き「散水開始時刻」を入力する場合は、↩ ボタンを1回押します。
⏰が液晶に表示されます。設定は次ページ以降をご参照下さい。

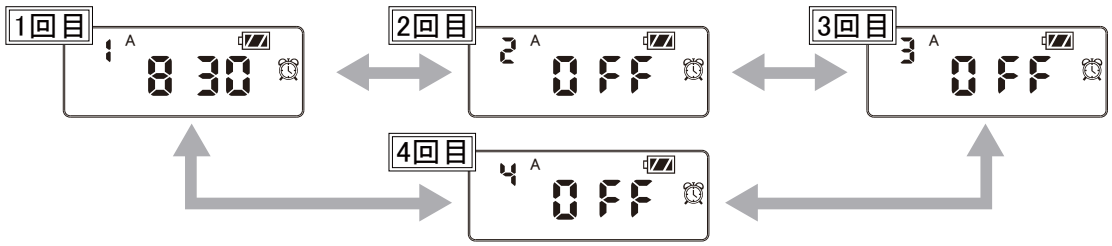
【:】（コロン）が点滅し、左右の隅にアイコンが出ていない画面が待機状態（時刻表示）になります。

ii.「散水開始時刻」の設定

ポイント

・開始時刻は15分単位の設定になります。
・◀▶ ボタンで散水開始時刻の回数が切り替えられます。
・1日最大4回まで設定可能です。(プログラムAのみ)
・≪OFF≫表示の場合は散水されません。

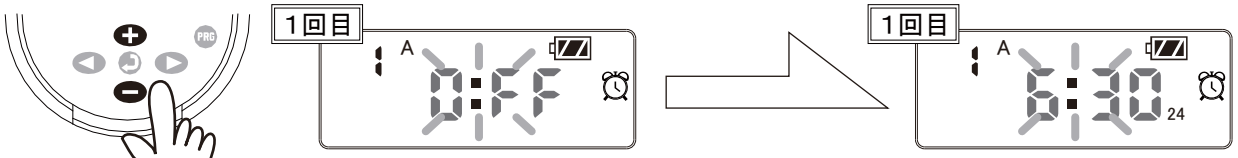
◀▶ ボタンで切り替わる順番(サイクル)



・アイコンが表示されるまで ボタンを押します。

待機状態からは、2回押します。

・＋ － ボタンを押して、散水開始時刻(水をまき始める時刻)を設定します。



開始時刻は15分単位の設定になります。

・▶ ボタンを1回押すと表示が切り替わり、2回目の散水開始時刻の設定が出来ます。

開始番号が「2」に切り替わります。

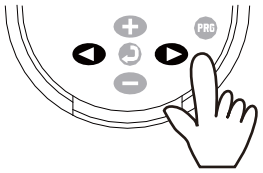
・1日1回だけの場合は ボタンを押して、待機状態にします。(次ページ参照)
・設定を繰り返し入力して、4回までの設定が可能。(プログラムAのみの場合)

次ページに続く

前ページからの続き

・各開始時刻を確認するには◀▶ボタンを押します。

確認手順



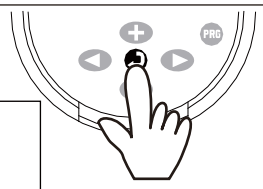
◀▶ボタンを押すと、
確認、修正が出来ます。
ボタンの切り替えサイクルは
10ページをご参照下さい。

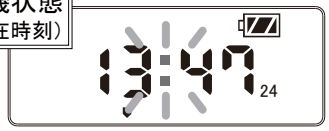
⚠ ご注意ください。

散水時間を設定しないと
自動散水されません。
次ページもご覧下さい。

・↩ボタンを数回押して、待機状態（現在時刻）にします。

↩ボタンを数回押すと待機状態になります。





引き続き「散水時間」を入力する
場合は、↩ボタンを1回押します。
⌛が表示します。操作は次ページを
参照下さい。
4回以上の設定をする場合はプログ
ラムB,Cを使用します。18ページ参照

【:】（コロン）が点滅し、左右の隅に
アイコンが出ていない画面が
現在時刻表示になります。

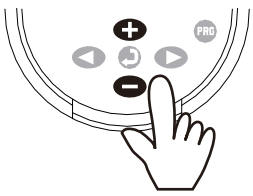
設定例：散水回数を1日2回から1回に減らす場合

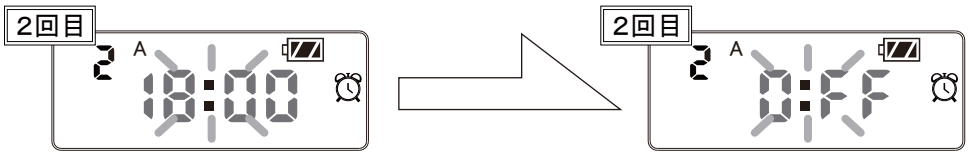
・⏰アイコンが表示されるまで↩ボタンを押します。

既に設定済みの散水開始時刻の1回目が表示されます。

・◀▶ボタンで、散水を止める開始番号に合わせます。

➕➖ボタンで時刻を≪OFF≫にします。





⚠ ≪OFF≫は「23:45」と「0:00」の
間になります。

・◀▶ボタンで、3回目、4回目も≪OFF≫になっているか確認して下さい。

≪OFF≫になっていないと散水してしまいます。

・↩ボタンを数回押して、待機状態（現在時刻）にします。

⚠ 1回に変更した後でも、水が出る場合は、プログラムB、Cに設定されて、
いる場合があります。【PRG】ボタンを押してご確認ください。（7ページ参照）

iii.「散水時間」の設定

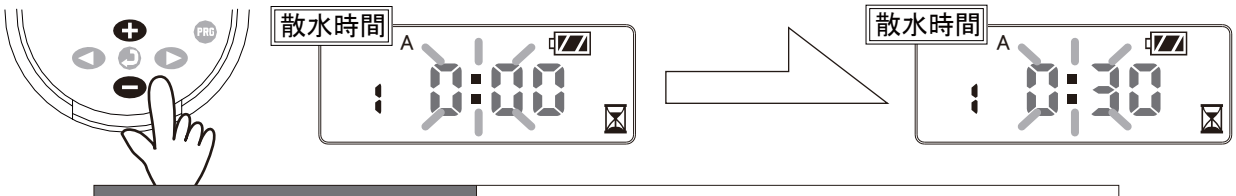
ポイント

・散水時間（水をまく時間）を設定します。
・1回に6時間まで設定可能です。（240分までは1分単位、以降は10分単位）
・開始時刻ごとに散水時間を変更することは出来ません。
・≪0:00≫表示は散水時間ゼロです。（散水されません。）

・アイコンが表示されるまで ボタンを押します。

待機状態からは、3回押します。

・ ボタンを押して、散水時間（水をまく時間）を設定します。



ご注意ください。

・4時間までは1分単位、以降は10分単位の設定です。
・散水開始時刻を設定しないと自動散水されません。

・ ボタンを数回押して、待機状態（現在時刻）にします。

引き続き「散水日」を入力する場合は、 ボタンを1回押します。
が表示します。操作は次ページを参照下さい。散水日を設定しない場合は初期設定で実行されます。
（初期設定は毎日散水です。）

【:】（コロン）が点滅し、左右の隅にアイコンが出ていない画面が現在時刻表示になります。

ご注意ください。

ボタンは散水時間設定の時は押さないで下さい。
画面左下に「1」が出ていないと変更出来ません。（左図参照）
押してしまった場合は、 ボタンを押すと表示されます。

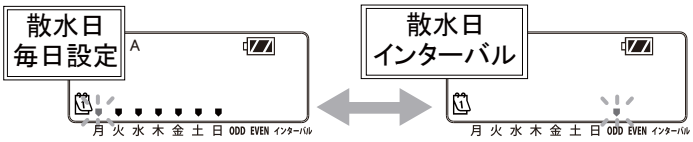
数字が出ていないと変更が出来ません。

iv.「散水日」の設定

ポイント

・散水日（水をまく曜日）を設定します。
・曜日ごとの設定が可能です。
・3日間で1日だけ散水の散水繰り返しなどの設定が出来ます。
・◯ボタンを押す前の画面設定が実行されます。

◀▶ ボタンで切り替わる順番（サイクル）



※各曜日の順に点滅が変わります。

※ODD【奇数】⇔EVEN【偶数】⇔インターバル【指定間隔】の順に点滅が変わります。

※一番最後に設定した曜日間隔で散水されます。

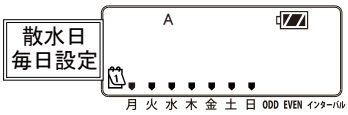
※奇数日、偶数日はカレンダーに連動しています。年月日の設定を間違えずに設定して下さい。

液晶表示について

散水する日	▼月	矢印がある
散水しない日	月	矢印が無い

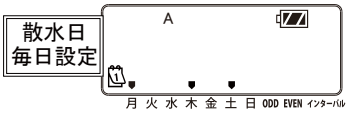
※曜日の上に「矢印」が出ません

毎日散水する場合



偶数日のみ散水する場合

指定日に散水する場合
（月、木、土に散水実行）



3日に1回散水する場合
（2日おきに散水実行）

設定例：曜日ごとに設定する場合

・アイコンが表示されるまで ◯ ボタンを押します。

待機状態からは、4回押します。
画面表示は異なる場合がありますが、アイコンが表示されます。

・散水日を設定します。

・◀▶ ボタンを押すと曜日が切り替わります。
・⊕⊖ ボタンを押して設定します。

	ボタン	表示
散水する日	⊕	▼月 矢印がある
散水しない日	⊖	月 矢印が無い

⚠ ⊕⊖ ボタンを押すと、次の曜日に移動します。
戻る場合は◀ ボタンを押して下さい。
『日曜』の次は『奇数日偶数日設定』、『月曜』の前は、『インターバル』です。
（切り替えサイクル参照）

次ページに続く

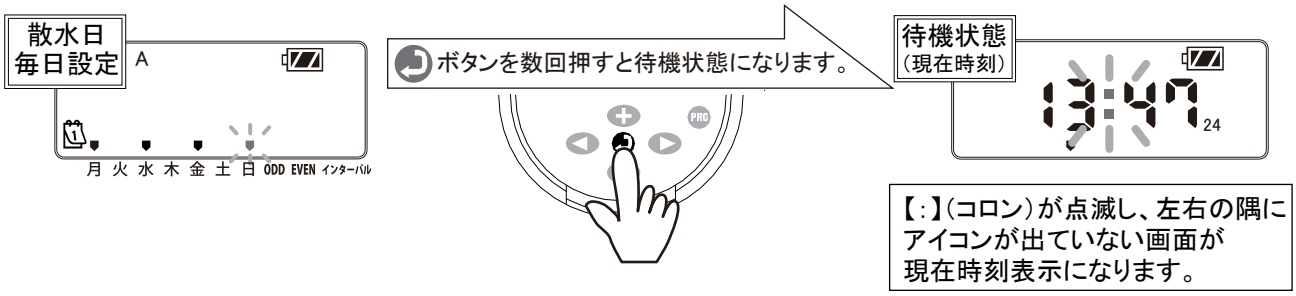
前ページからの続き

入力操作は以上です。確認、修正は ◀ ▶ ボタンを押して下さい。

・↩ ボタンを数回押して、待機状態（現在時刻）にします。

注意事項

待機状態に戻す直前の設定画面が実行されます。
インターバルなど、別の設定画面になっていないか注意して下さい。

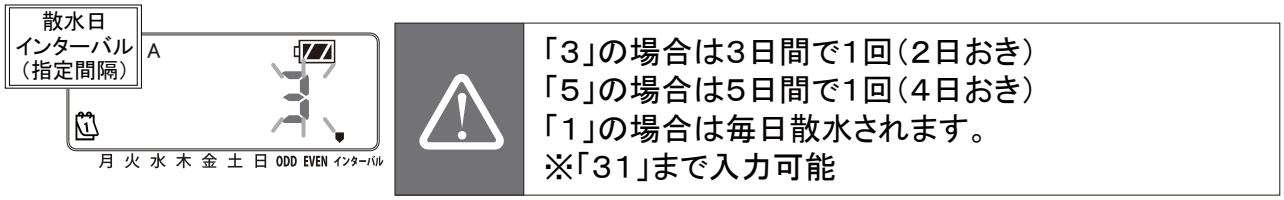


設定例：3日に1回散水する場合

・1 アイコンが表示されるまで ↩ ボタンを押して散水日の設定可能な画面にします。

◀ ▶ ボタンを押して、点滅している▼（矢印）をインターバルにあわせて、
＋ ボタンを押します。（下記のように数字が表示されます。）

・＋ － ボタンで散水間隔を設定して下さい。



・↩ ボタンを数回押して、待機状態（現在時刻）にします。

必ずインターバル画面の状態で ↩ ボタンを押して下さい。

％ v．季節散水時間調整

ポイント

・設定済みの散水時間の増減が一括で簡単に出来ます。
・季節に合わせて散水時間の調整が出来ます。
・時間の増減のみで、毎分の水量を変えるものではありません。

・％アイコンが表示されるまで ボタンを押して、 ボタンで散水時間を調整します。

初期設定は100%で10%単位で全系統の散水時間増減する事が出来ます。

・ ボタンを数回押して、待機状態（現在時刻）にして完了します。

注意事項

・毎分の散水量を変えるものではありません。
・散水時間を「10分」で設定してある場合は1分単位（10分の10%）で
時間が増減します。
・散水時間の上限は6時間、下限は1分です。（この操作で0分にはなりません。）
・%の上限は150%、下限は10%です。
・散水完了時刻も変わりますのでご注意下さい。

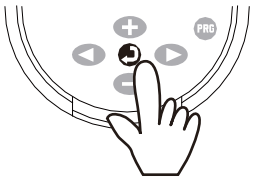
vi．散水停止、システムOFFの設定

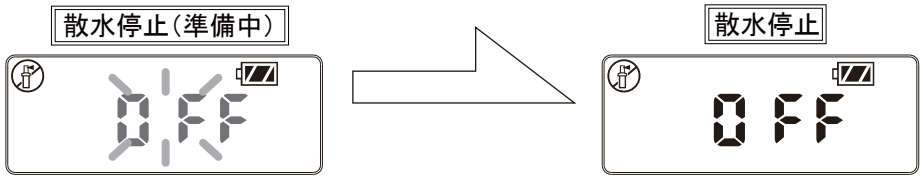
ポイント

・散水中に 合わせると散水の緊急停止が出来ます。
・設定を残したままで、無期限もしくは1～99日間の散水停止が出来ます。

・ アイコンが表示されるまで ボタンを押します。

アイコンとOFF（点滅）が表示された後、カウントダウンに切り替わり、
OFFが点滅から常時表示に変わると停止します。





注意事項

・自動散水中、手動散水中に限らず中断出来ます。
・散水の中断を確認した後は、待機状態（現在時刻）に必ず戻して下さい。
戻し忘れると散水停止状態のままになります。

・ ボタンを押すと数字が表示（点滅）され、停止日数を設定出来ます。

停止状態から復旧するには ボタンを押して、待機状態（現在時刻表示）にします。

14日間停止する場合は左記の表示になります。

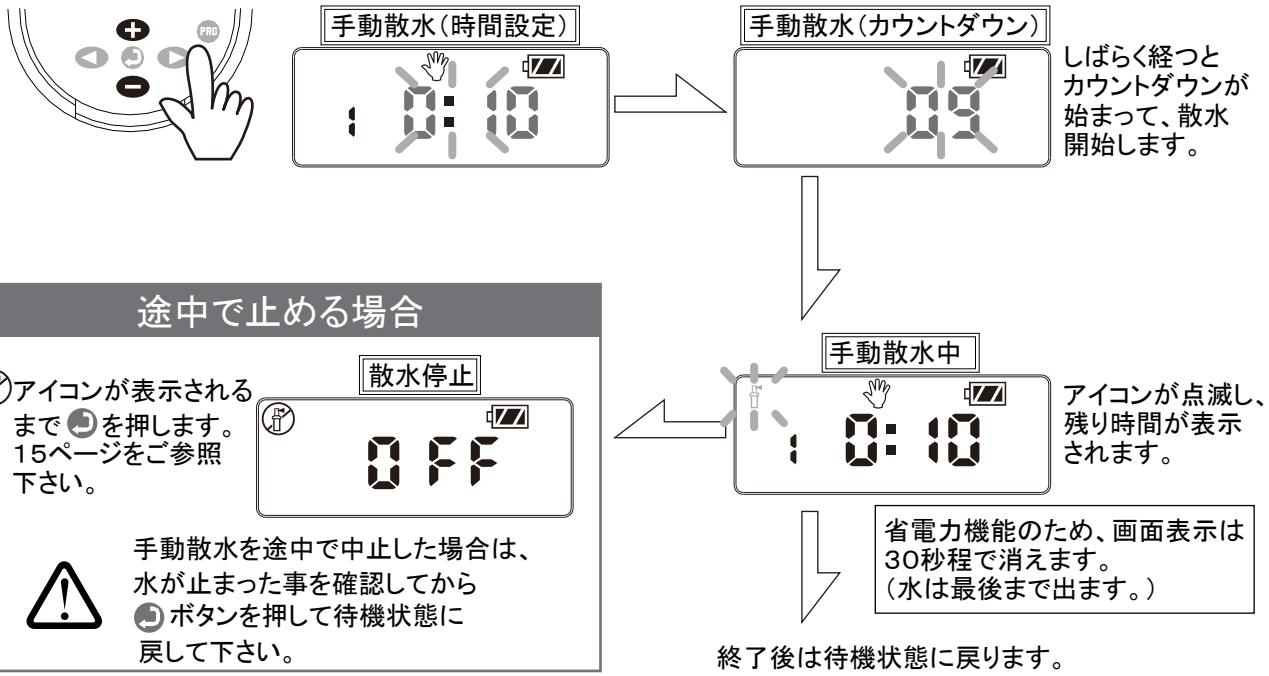
vii. 手動散水の手順

ポイント

・手動で散水をします。
・1分～最大6時間まで設定可能です。
（240分までは1分単位、以降は10分単位）

・アイコンが表示されるまで▶ボタンを長押します。（約2秒間）

・＋－ ボタンを押して、散水時間（水をまく時間）を変更します。



途中で止める場合

アイコンが表示されるまで●を押します。15ページをご参照下さい。

手動散水を途中で中止した場合は、水が止まった事を確認してから●ボタンを押して待機状態に戻して下さい。

⚠ 手動散水中のボタン操作について。

しばらくすると液晶は消えますが散水は続きます。手動散水の液晶表示中にボタンを押すと、以下のように設定が変更されてしまいます。

◀▶ ボタンを押すと手動散水が最初からやり直しされます。
＋－ ボタンを押すと散水時間が変更されます。
● ボタンを設定画面が順番に変わります。（待機状態にもどすと続行します。）

viii. センサー解除の設定

ポイント

・自動散水とセンサーの連動を解除出来ます。
・センサーを取付していない場合は不要の操作です。
・初期設定はセンサー作動(ON)になっています。

・☂アイコンが表示されるまで◀ボタンを長押します。(約2秒間)

・⊕⊖ ボタンで作動、解除の設定をして、↩ ボタンで待機状態に戻します。

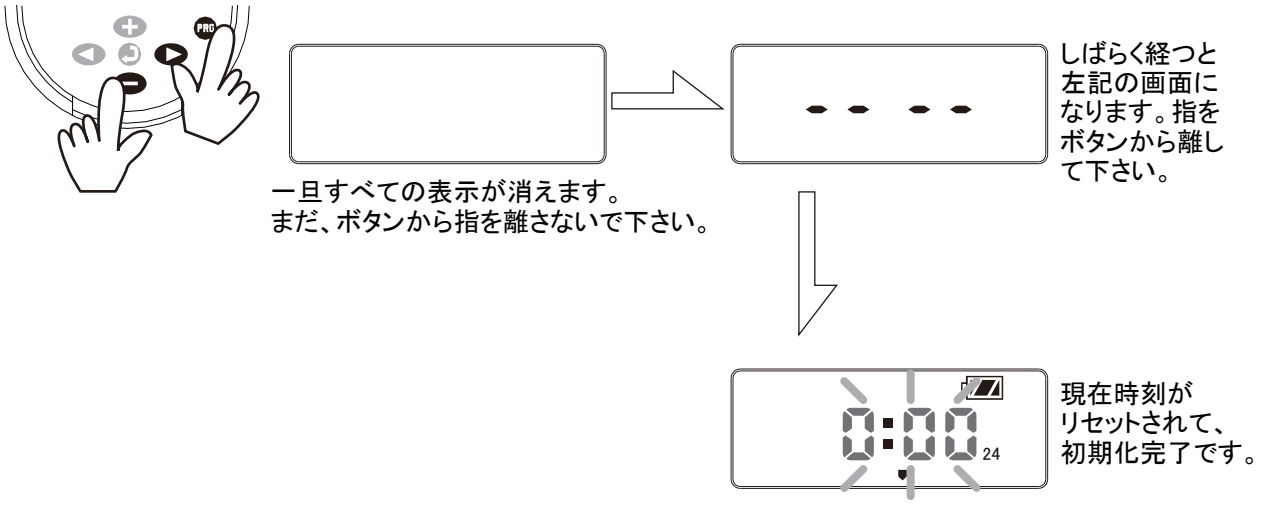
	ボタン	設定中表示	待機状態通常	待機状態_センサー作動中
センサー作動 ON	⊕	ON	13:47 24	OFF
センサー解除 OFF	⊖	OFF	13:47 24	

ix. 本体プログラムリセットの手順

ポイント

・すべての設定を初期化します。

・⊖ ▶ PRG ボタンを3つ同時に長押します。(約2秒間)



PRG x．追加プログラムの設定

ポイント

設定が複雑になるので、使用をお勧めしておりませんが
以下の場合はプログラム設定する事で設定が可能になります。
・1日4回以上の作動をしたい場合。
・開始時刻ごとに散水時間を変えたい場合。
　等の設定時に使用します。

例①　1日の散水回数を4回～12回にする場合。

1～4回（通常）:プログラムA
5～8回目　　:プログラムB
9～12回目　　:プログラムC

例②　開始時刻ごとに散水時間や水を与える頻度を変えたい場合。

PRG	プログラムA	プログラムB	プログラムC
開始時刻	朝　6:00～	昼　12:00～	夕方　18:00～
散水時間	30分	15分	20分
散水頻度	毎日	1日おき	週3日

注意事項

・季節ごとの設定をするものではありません。
・1プログラムあたりの散水時間は1回しか設定出来ません。

5. よくあるQ&A

ご使用中に異常が発生した場合は下記を参考に点検をして下さい。
万が一症状が改善されない場合は販売店もしくは弊社までお問い合わせ下さい。

症状	原因	解決方法
・液晶が表示されない。	・電池切れ、コネクターから電池が外れている。	電池を入れ替えて下さい。コネクターに適合しない場合は別の電池をご用意下さい。
	・省電力のため消えている。	いずれかのボタンを押して表示させて下さい。
・ アイコンは表示しているが水が出ない。	・止水栓（元バルブ）で水が止められている。	止水栓を開けて下さい。
	・散水機器の不具合。	スプリンクラー本体やチューブ、配管などに損傷が無いかご確認下さい。
	・電磁弁取り付け方向が逆。	電磁弁本体の矢印と、水の流れ方向が一致しているかご確認下さい。
・水が止まらない。	・ソレノイドが緩んでいる。	ソレノイドを【OFF】方向にしっかり閉めて下さい。
	・設定が正しくない。	各設定とプログラムB,Cの設定などをご確認下さい。7ページをご参照下さい。
	・散水機器の不具合。	スプリンクラー本体やチューブ、配管などに損傷が無いかご確認下さい。
	・電磁弁異常。	電磁弁内部の異物の有無を確認して下さい、分解して、洗浄するか、交換をして下さい。
	・設置場所に高低差がある。	配管内の水が残っている場合は散水終了後も水が少量出る場合があります。
・自動散水されない。	・時刻,散水開始時刻,散水時間それぞれ設定してありますか?	説明書（本書）を参考に入力して下さい。
	・止水栓は開いていますか？	止水栓を開けて下さい。
	・OFF表示になっていませんか？	システムOFFやセンサー作動中で無いか確認して下さい。6ページもご参照下さい。
	・センサーが作動中。 表示中	センサーが作動しています。散水したい場合は手動にて行って下さい。16ページをご参照下さい。
	・配管、制御線の接続は正しくされていますか？	接続されているかをご確認下さい。
	・配管、制御線などに損傷はありませんか？	損傷箇所を直して下さい。
・指定された時刻以外に水が出てしまう。	・散水開始時刻、散水時間は正しく入力されていますか？	説明書（本書）を参考に入力して下さい。
	・PRG（プログラム）を組んである	プログラムA以外の設定を確認して下さい。必要なければ消去して下さい。7ページをご参照下さい。
・センサーが正しく作動していない。	・センサーが正しく取り付けられていない。	説明書（本書）を参考に取り付けして下さい。
	・センサーが解除されている。	17ページをご参照下さい。
	雨が降っているのに自動散水をしている。	

ボタンサイクル　フローチャート